

地球システム・倫理学会、一般社団法人全国日本学士会主催
2018年「有明海の再生に向けた東京シンポジウム」

開催日時：平成30年9月29日（土）10時30分～17時30分

開催場所：東京大学農学部フードサイエンス棟中島ホール

- I 主催者挨拶（10時30分～10時40分） 地球システム・倫理学会会長 近藤 誠一
- II 趣旨説明（10時40分～11時）
「東京で有明海再生の道を考える」地球システム・倫理学会理事、舞根森里海研究所所長 田中 克
- III 講演（11時～16時45分）
- 1：地球システム倫理としての有明海問題（11時～12時）
「クストーの思想に学ぶ」 地球システム・倫理学会会長顧問 服部 英二
「自然と共生する技術とは何かー有明海の再生に向けて」
地球システム・倫理学会副会長、星槎大学共生科学部教授 鬼頭 秀一
(休憩：12時～13時)
- 2：有明海的环境と生き物の多様性（13時～14時）
「有明海異変と環境変化ー諫早湾潮受け堤防設置との関連」
熊本県立大学環境共生学部教授 堤 裕昭
「稚魚研究から見た有明海の異変と未来」 高知大学海洋生物研究教育施設教授 木下 泉
- 3：有明海で漁業と農業に生きる（14時～15時）
「有明海を“宝の海”に戻したい」 佐賀県多良町漁師 平方 宣清
「干拓地で農業に生きる」 農業生産法人(株)マツオフーム代表 松尾 公春
(休憩：15時～15時15分)
- 4：有明海再生へ向けての展望（15時15分～16時45分）
「韓国順天湾干潟の再生・保全から有明海再生を展望する」 福岡県立伝習館高校教諭 木庭 慎治
熊本県立岱志高校教諭 松浦 弘
「ラムサール条約と森里川海プロジェクトから有明海再生を展望する」
環境省「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトチーム・副チーム長 鳥居 敏男
「森は海の恋人から有明海再生を展望する」 NPO 法人森は海の恋人理事長 畠山 重篤
- IV 有明海再生へ向けての提言とりまとめに関する意見交換（16時45分～17時30分）
- V 写真展示「有明海と諫早湾の今昔」（於：中島ホール入口フロア）
宝の海と呼ばれた有明海・諫早湾の海と漁業を撮り続ける中尾勘悟氏（肥前環境民俗写真研究所代表）
の写真展示
- 共 催：有明海漁民・市民ネットワーク、NPO 法人森は海の恋人、NPO 法人 SPERA 森里海・時代を拓く
後 援：三井物産環境基金、地球・人間環境フォーラム、WWFJapan、
認定NPO 法人アースウォッチ・ジャパン